

第61期

株主通信

平成24年4月1日～平成25年3月31日

トップメッセージ

安定的かつ持続的成長に向けた
取り組みについて

連載コラム vol.3

社員が語るNDC



日本ドライケミカル株式会社

証券コード 1909

株主優待制度を導入しました!!

平成25年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上の株式を保有されている株主様より開始いたします。優待内容は1,000円相当の商品(または寄付)としております。詳細は当社ホームページをご覧ください。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会：毎年3月31日 期末配当金：毎年3月31日 中間配当金：毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めの日
単元株式数	100株
証券コード	1909
公告の方法	電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。 (http://www.ndc-group.co.jp/) ただし、事故等やむを得ない事由によって電子公告による公告が行えない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社にてお願いいたします。
証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	フリーダイヤル 0120-782-031 (平日9:00~17:00/土日祝除く)



NDC 日本ドライケミカル株式会社

〒140-8613
東京都品川区勝島1-5-21 東神ビルディング

株式会社イナートガスセンター営業開始

当社は平成24年8月1日付で当社千葉工場内に二酸化炭素やハロゲン化合物等の消火ガスを回収し、再利用することを目的とした株式会社イナートガスセンターを松山酸素株式会社と共同で設立し、平成25年4月1日より営業を開始いたしました。

当社グループは人々の安全と財産を守りながら地球環境の保全を通じて社会に貢献することが企業の社会的責任と考えております。循環型社会の実現の一助として今後も積極的に環境にやさしい製品作りを進めてまいります。



新日本空調株式会社との資本業務提携

当社は、平成25年2月6日付で東京証券取引所市場第一部に上場している新日本空調株式会社(証券コード:1952)と資本業務提携いたしました。

両社は同じ建築設備という事業領域の中で、空調設備と消火設備の一体受注体制やリニューアル共同提案体制の構築、相互の技術を用いた新たな製品・サービスの創出などを通じて、新たな価値をお客様に提供し、両社の事業の発展や企業価値の向上につなげてまいります。

アルミ製容器消火器のラインナップ拡充

当社は、平成12年に国内で初めて軽くて耐食性に優れた、高いリサイクル性を持つ環境にやさしいアルミ製容器を消火器に採用いたしました。

アルミ製容器消火器は、エコロジーと安全性が高く評価されており、その後、ラインナップを拡充しつつ、今まで困難とされてきたアルミ溶接におけるフック用掛金の取り付けにも成功しました。

今回、さらにNDCエコアルミシリーズ蓄圧式粉末(ABC)消火器を新発売することとなり、今後もお客様のご期待にお応えしてまいります。





代表取締役社長

遠山 栄一

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成25年3月期における防災業界は、公共投資の抑制、電力料金の値上げ等の影響により、先行き不透明な状況でしたが、当社グループは、消火・防災にかかる総合防災企業としての位置付けを強化しつつ、社会全体の防災意識の高まりのなか、積極的に営業を展開した結果、売上高、利益ともに前年度実績と比べ大きく増収、増益となりました。これもひとえに多くのステークホルダーの皆様のご支援、ご協力の賜物であり、ここに厚く御礼申し上げます。

当社グループは、今後も事業を通じて世の中に安心と安全を提供し、企業価値の継続的増大に邁進してまいりますので、株主の皆様には、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

安定的かつ持続的成長に向けた取り組みについて

●**沖電気防災株式会社の子会社化により“真”の総合防災企業グループとして差別化を図ってまいります。**

平成24年10月1日付で、自動火災報知設備の製造・販売が主な事業内容である沖電気防災株式会社を子会社化しました。

これにより当社グループは、煙・熱の感知・報知から消火まで、防災にかかるお客様のあらゆるニーズにワンストップでお応えできる“真”の総合防災企業グループとして、その地歩を固めることが出来ました。

今後も自動火災報知設備から、消火設備、消火器そして消防自動車まで、製品・システム・サービスのすべてにお応えできる、防災にかかる最強のプロ集団を組成し、お客様の満足度を更に高め、差別化を図ってまいります。

そのために、両社の営業拠点を統合することとし、本社機能も本年10月に東京都港区に集約する予定であります。そして、社員の質の更なる向上、防災にかかる幅広い知識・技術の習得を図るために、両社間の人事交流も進めてまいります。火災報知と消火の技術を融合し、より魅力的、効率的な製品・防災システムを開発し、市場に提供してまいります。

●**株式会社初田製作所との基本業務提携による成果が実現しつつあります。**

OEM製品の更なるラインナップ強化を通して、顧客層の拡大、顧客満足度の向上を図ってまいります。

製品物流コストの合理化、廃消火器回収の効率化を目的とした東日本物流センターを設置することを検討してまいります。また、両社共同による消火・防災にかかるトレーニング施設を検討してまいります。

●**松山酸素株式会社との共同出資による株式会社イナートガスセンターを千葉工場敷地内に立ち上げました。**

これまで、ガス系消火設備に使用されている二酸化炭素は、設備の撤去やメンテナンス時において、ほとんど大気放出による処分を行っていました。イナートガスセンターは、二酸化炭素とハロン1301の回収装置、各種消火ガスの充填設備を有しており、ガス系消火設備の点検能力を大幅に向上することが可能になりました。

イナートガスセンターの事業を通じて、世界でもあまり例のない二酸化炭素の回収・再利用という循環型社会の推進と、地球環境への貢献を目指してまいります。

●**新日本空調株式会社と資本業務提携契約を締結しました。**

空調設備企業と防災設備企業との資本業務提携は業界にとって画期的な試みであり、空調、消火・防災設備の一体受注、リニューアル案件の情報交換、共同提案を推進してまいります。また、技術交流により、新製品・新工法・新システムの開発を進めてまいります。

●**海外事業への取り組みを強化してまいります。**

業務提携先と協業し、海外の消火・防災設備案件の受注に向けた営業体制を強化してまいります。また、海外の有力な防災機器メーカーとの提携を強化し、より魅力的かつ効果的な製品、防災システムを日本の市場に提供してまいります。

株主還元は、重要な経営課題の一つです。

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと認識しており、経営成績の向上及び経営基盤の強化を図りつつ、安定した株主配当を継続して実施していくことを、配当政策の基本方針としております。

当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。また、1単元(100株)以上保有の株主様を対象に、株主優待制度を導入いたしました。

今後も、当社株式への投資魅力を高めるため、さまざまな株主還元を実施していきたいと考えております。

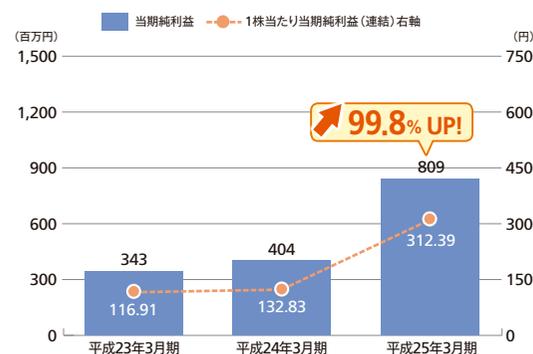
売上高



経常利益



当期純利益・1株当たり当期純利益



(注) 当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成23年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

連結貸借対照表

(単位：千円)

	前期末	当期末
	平成24年3月31日現在	平成25年3月31日現在
資産の部		
流動資産	14,128,829	16,648,705
固定資産	3,397,527	3,982,886
有形固定資産	989,228	1,025,655
無形固定資産	2,031,168	2,014,680
投資その他の資産	377,130	942,551
資産合計	17,526,356	20,631,592
負債の部		
流動負債	10,647,146	11,952,242
固定負債	1,436,273	2,975,275
負債合計	12,083,419	14,927,517
純資産の部		
株主資本		
資本金	171,145	171,145
資本剰余金	2,734,145	2,788,685
利益剰余金	2,538,932	3,169,646
自己株式	△235	△648,142
株主資本合計	5,443,987	5,481,333
その他の包括利益累計額	△1,050	15,076
少数株主持分	—	207,664
純資産合計	5,442,937	5,704,074
負債純資産合計	17,526,356	20,631,592

自己資本比率(連結)

	平成24年3月期	平成25年3月期
自己資本比率(連結)	31.1%	26.6%

連結損益計算書

(単位：千円)

	前期(累計)	当期(累計)
	平成23年4月1日 至平成24年3月31日	平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高	23,765,512	28,931,683
売上原価	19,055,474	23,062,365
売上総利益	4,710,037	5,869,317
販売費及び一般管理費	3,668,127	4,257,165
営業利益	1,041,909	1,612,152
営業外収益	6,075	34,623
営業外費用	53,496	70,576
経常利益	994,489	1,576,199
特別損失	10,242	2,746
税金等調整前当期純利益	984,247	1,573,452
法人税、住民税及び事業税	413,363	710,695
法人税等調整額	165,990	2,766
少数株主損益調整前当期純利益	404,893	859,990
少数株主利益	—	50,830
当期純利益	404,893	809,159

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前期(累計)	当期(累計)
	平成23年4月1日 至平成24年3月31日	平成24年4月1日 至平成25年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	654,989	1,076,165
投資活動によるキャッシュ・フロー	△330,821	△805,613
財務活動によるキャッシュ・フロー	236,251	531,849
現金及び現金同等物に係る換算差額	△57	△2,191
現金及び現金同等物の増減額	560,362	800,210
現金及び現金同等物の期首残高	836,493	1,396,855
現金及び現金同等物の期末残高	1,396,855	2,197,066

■ 会社概要 (平成25年3月31日現在)

商号	日本ドライケミカル株式会社 (Nippon Dry-Chemical CO., LTD.)
代表者	代表取締役社長 遠山 榮一
設立	昭和30年4月23日
資本金	171百万円
従業員数	374名/グループ総数589名

■ 役員体制 (平成25年3月31日現在)

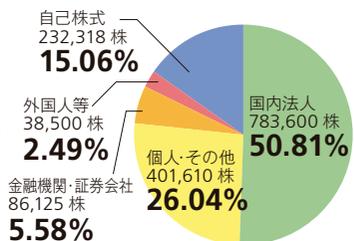
役員	代表取締役社長	遠山 榮一
	専務取締役	後藤 力丈
	取締役	喜浦 透
	取締役	杉山 一郎
	取締役	長谷 哲之
	監査役(常勤)	伊藤 正
	監査役	長嶋 和雄
	監査役	後出 大

監査役 長嶋和雄ならびに後出大は会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

■ 株式の状況

(平成25年3月31日現在)

発行可能株式総数 5,800,000株
 発行済株式総数 1,542,153株
 株主数 1,047名



株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
株式会社初田製作所	232,000	17.71
新日本空調株式会社	48,000	3.66
株式会社吉谷機械製作所	40,000	3.05
株式会社東京エネシス	35,000	2.67
神林忠弘	32,300	2.47
斎久工業株式会社	30,000	2.29
日本証券金融株式会社	28,900	2.21
株式会社河本総合防災	27,000	2.06
日本ドライケミカル従業員持株会	26,400	2.02
昔農千春	25,900	1.98

※1 当社は自己株式を232,318株保有しておりますが、上記の表からは除いております。また持株比率は自己株式を控除して計算しております。

※2 当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合の株式分割を実施しております。

担当のガスの消火で一番を目指し、将来的には業界で一番の会社になりたい。

メンテナンス東京支店では、建築部門の施工完了後の物件を中心に点検などを担当しています。私は主にマンションやビルにおける、ガスの消火設備の改修工事などを担当しており、お客様は管理会社やオーナーさんなどです。改修工事の見積もりの作成、お客様への工事の説明などは営業として当然ですが、工事の施工や段取りまでこなしています。

メンテナンス東京支店
 営業部 営業4課
酒井 博道
 (2010年入社)

メンテナンス東京支店のスタッフは約40名。困ったときは助け合ったり、大きな家族みたいで仕事しやすいですね。



営業活動で大切なのは、私という人柄を信頼してもらって、「何か困ったら、酒井に頼めばいい」という信頼関係を築くことだと思います。そのために、普段からおお客様のご依頼に対して、素早い対応を心がけています。

また、仕事の内容は、消火器のシール貼りという細かい仕事から、ガスの消火設備の全面リニューアル工事など大きなものまでさまざまですが、どんな仕事でもきちんと対応するようにしています。そうしたことから、少しずつ信頼関係が生まれていくと考えています。

目標として、仕事をするからには社内でも、社外でも一番になりたい！ 担当のガスの消火で、一番を目指しています。将来的には、当社を防災業界で一番の会社になりたいですね。

